

KSKQ

出会い
ふれあい
助け合い



VOL.279

サロン あべの

〈サロン・あべの〉8月の出会い

平成21年8月2日(日)、〈サロン・あべの〉8月の出会いは恒例の「あべのカーニバル」での「さろん亭」の開店です。

今年で第36回になる「あべのカーニバル」ですが、気になったのは、やはり当日の天気です。近畿の梅雨明けが例年より遅く、各地で激しい雨がふり、心配されました。当日の朝方まで雨が降っていて、やきもきしながらカーニバル開催の確認電話を入れましたところ、「今日は開催します」と力強い言葉が返ってきました。その言葉通り開催日和の晴れたよい天気となりました。

「さろん亭」開店準備

当日の午後1時ごろから、「さ



さろん亭

ろん亭」の開店準備のため、「あべのカーニバル」の会場である市立工芸高校のグラウンドへ向かいました。その頃のグラウンドはまだぬかるみもありましたが、グラウンド内の「なんでも市どおり」の中では多くの店が出店準備に精を出していました。その一角に赤と白のラインのテナントの「さろん亭」の中ではみなさんから提供していただいた品物が並べられています。

手作り作品や小物類などといつしよに並ぶのは、サロングッズ1番人気の一筆箋、オリジナル童謡♪絵はがきあれこれ。

（サロン・あべの）の暖簾がはためく中、準備中にもお客さんが来られ、掘り出し物がないか、お買い得な物はないかと品定め之余念がありません。

「さろん亭」販売開始

そして午後3時、「さろん亭」

がよいよ開店しました。目の利くお客さまは手早くお買い物にされていきます。中でも石鹸やタオルなどは人気商品で、いつものことながらまとめ買いをされる方もおられます。人出が多くなつてくると、売り手も買手も熱気をおびてきて値引き交渉など真剣なやり取りが交わされます。が、「さろん亭」では、サロン活動にご理解くださる方々がボランティア精神で、品物をご提供くださり、その品物にこんな安い値段をつけてよいのかしらと話し合いながらも、買ってください方のお買い得感も満足していただけるよう破格の値段をつけています。それを販売してくださる方々も暑さを忘れて声を掛け合い、強引とも思える値引き交渉に対応してくださっています。中には、バザー

なんだから品物の値段などあつてなきがごとしと思われている方もおられますが、「さろん亭」は安売りのお店ではない自負心がありますので、手作りの品物やサロングッズは一切値引きはしていません。それでも毎年、お買い求めに立ち寄ってくださいのお顔なじみの方々のお顔を見受けると、ありがたく思いますとともに出会えた喜びを感じます。

チンドン屋さんが練り歩きます。

グラウンド中央では、地元のア倍野区内の中学、高校の吹奏楽部の演奏などがあり、カーニバルの「さろん亭」を盛り上げてくれます。暑い中、多くの方が立ち寄りくださり、テント内にあつた沢山の品物も時間が経つにつれ、ほとんどの品物が売れていきました。そして無事に閉店となりました。

お互いにカーニバルまでの1年間、いろいろなことがあつたと思いますが、この日この時を

「さろん亭」御礼

迎えられて出会えたということに「しあわせ」を感じるのです。

毎年のことなのですが、品物を寄贈していただいた方、前日の値札付けや品物の搬入や当日の

なんでも市通りには、たこ焼き屋さん・冷やしラムネやジュース販売・ヨーヨー釣りなど縁日さながらのお店が並んでいます。その人通りをかき分けて、シヤカシヤカドンドンピーピーと

販売のお手伝いや後片付けなど、本当に多くのおみなさんにお世話になりました。ありがとうございます。今年も多くのみなさんに支えられた「さろん亭」でした。

（山村貴司）

晴れのち晴れ-132-

稲垣恵雄

■ワイン

アルコール飲料には日本酒、ビール、焼酎などいろいろあるが、最近はワインを好む人も増えてきたようだ。

我が国でも沢山のワインが造られているが、ワインの醸造元は何といってもフランスである。特にフランス南西部のサンテミリオン村はワインの名産地として知られている。この村は小高い丘の上に中世の建物が立ちその中にブドウ畑が広がっているという。

ワインには赤ワインと白ワインがあるが、前者はシャトーオーゾンヌとシャトーシュハが、後者はシャトーイケムと貴腐ワインがそれぞれ最高銘酒だと言われている。そしてまた白ワインは甘口から辛口まで5段階に分けられ、赤ワインはほとんど辛口だ

が、味のコクと濃淡に分けられる。

ワイングラスは他のグラスとちがって持つところが細くて長くのびているのは、手の温もりがワインに伝わらないためである。

先日、友人とデパートへ買い物に行ったあとレストランに入った。そのレストランは木造りで快い香りと温もりを感じ、どこからともなくクラシック音楽が静かに流れていてとてもおしゃれな店だった。

席に着いてまもなくすると、一品ずつ季節の料理が運ばれてきたが、食前酒はワインだった。2人で「フランスのサンテミリオン村ってどんなところやろうね」とか「白ワインの甘口から辛口まで全部飲んでみたいなあ」と話しながらワインで喉をうるおし、料理を頂いた。



ありがとうございます。

カンパ、飲料水・たこやき・手作り品・バザー用品などのご寄贈、また、サロングッズのお買い上げ、ならびに「さろん亭」の準備や販売のお手伝い、ありがとうございます。カスターネット（高橋幸子・竹下洋子・松村美鈴・宮脇信子）、カナエ、ヘヤーマイク・トランプ、安達尚子、網谷保子、伊勢村和子、伊藤明弘・沖村萌子、井山美穂、奥田久子、加賀谷正、神谷君江、桑田加代子、小西京子、菅井敏夫、大丸美智子、高尾澄男、高橋幸子、竹下秀樹、竹村定子、田村澄子（岡田佐智子・神守博子）、辻本輝子、寺岡富子、富田慶子、十一、豊永トシエ、中村宣子、原田仁・博子、久木浩、南元子、宮脇信子、三好佳子、山村貴司、山村久子、その他の方々。（敬称略）

○ 8月2日（日）「あべのカーニバル・なんでも市どおり」に出店しました「さろん亭」の収益金は、左記の額になりました。

多くのみなさま方のご理解とご協力を賜りまして得たお金です。サロン活動に大切に活用させていただきます。感謝を申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。

「さろん亭」収益金 45445円
ありがとうございます。

58



邦子、 ..ん歳の手習い。

ポール・モロー氏の自立生活

今回は、私の夫が1989年にパークレーでインタビューしたポール・モロー氏の自立についてお話しします。

ポールさんは、1952年にコネティカット州で生まれ、1970年に高校を卒業しました。しかし、その2カ月後にはしごから落ちる事故により首の骨を折り、頸椎(C4、C5)を損傷して障害者になりました。手術後は身体が弱っていて、病院で寝たきりの生活でしたが、6カ月後にやっと座れるようにな

りました。車いすに座れるようになったのは、その2カ月後で、入院生活8カ月を経て退院することができました。退院後は、7年間の施設生活を過ごし、1978年に施設を出て、パークレー大学に入学しました。

大学入学後は学生寮に入り、障害者学生プログラムの自立生活訓練を受けながら、6カ月間寮生活を経験しました。その後、大学の近くにアパートを借りることで、彼の自立生活が始まりました。彼は、寮生活の1カ月後にはかなり自立生活ができるようになり、自分で介護者を雇い、介護者を使うこと

もできるようになっていたので、寮を出た後も何も問題はなかったということです。彼のような重度の障害者がそんなにも早く自立生活できたのは、施設での7年間の生活も役立つているようでした。彼は、「施設にいる時は、一生懸命に訓練していたので、それがよかったのでしょう」と言い、次のように語っています。「7年間、毎週5日間は1日に3回は運動をしていました。ここに来るまでは、ずっと7年間手動車いすを使っていました。施設の外に出る時は、人に手伝ってもらって

好評のエッセイ

岡 知史著

知らされない
愛について

700円

ほんの少しの
神に近い部分

700円

いましたが、施設内の移動は1人で大丈夫でした」また、「施設にいた時は、事故による脊椎損傷の人たちや脳障害で半身不随の人たちもいて、それらの先輩たちに床ずれ予防についてもありとあらゆる方法を教わりました。というのは、先生よりも先輩たちの方が床ずれ防止についてはよく知っていたからです」

彼は、障害者になってから、手動車いすを使ってきましたが、大学入学後はリクライニングできる電動車いすを使うようになり、移

お知らせ

＜サロン・あべの＞ 10月の出会い

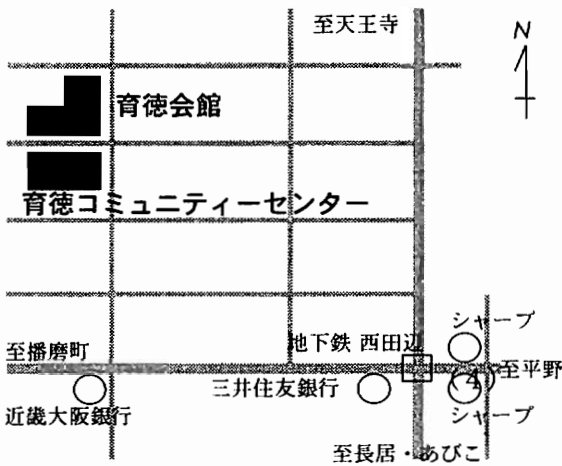
内 容…親父は、バイクで四国を巡る
 -多くの人との出会い、すばらしい旅でした-
 お客さま…窪田新一さん（サロン淀川代表）
 日 時…10月17日（土）午後1時～4時
 場 所…育徳コミュニティーセンター2階
 研修室（スロープ・車いすトイレ有）
 大阪市阿倍野区阪南町 5-15-28
 TEL 06-6621-1901
 最寄り駅=
 地下鉄御堂筋線「西田辺」（エレベ
 ーター有）下車すぐ

会 費…なし

問い合わせ先…

TEL 06-6691-1028（富田慶子）

＜サロン・あべの＞ 10月の出会いは市民フォーラムおおさか09の協働事業に参加しています。



夫が初めてポールさんにインタビューした

動が楽になり彼の自立は広がりました。彼がアパートで自立生活を始めて、1年後には兄とその家族が同じアパートに住むようになりました。彼の兄は、彼の介護はしていませんが、時々食事を届けてくれるということでした。また、彼も兄の子どもの面倒をみたりお互いに助け合い、いい家族関係にあるといえます。

夫が初めてポールさんにインタビューした

誰の手も借りずに車を運転できる車があり、

のほ、彼が自立生活を始めて10年目の時でした。彼の部屋には介助犬がいて、彼が物を落としたりした時に、それを拾って彼の手助けをするのを披露してくれました。また、彼は障害者が運転できるように改造された車をもつていて、電動車いすのままでも運転席に行き、自分で運転もしていました。同じ障害をもつ夫にとって、夫よりも重度障害のポールさんが、

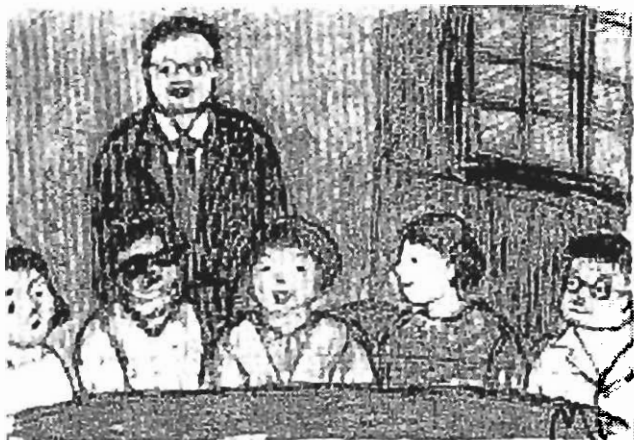
た。

それを自由に運転しているポールさんの姿は驚きでした。また、介助犬の存在も驚きでした。ポールさんは長い施設生活の中で自立の努力をしていきましたが、その彼の自立を広げ、新たな自立生活へと導いたのは、パークレー自立生活運動であったといえます。そして、夫もその運動や自立生活者と出会うことにより、自立について学ぶことができました。

（定藤邦子）

「先生」についてのないしよ話

ちよつと、いいですか。いいえ、たぶん五分もかからないと思います。このあいだね、ハアアアって思ってしまったんですよ。というのはね、ある自助グループの集会



に出たんですよ。ごめんなさい、あんまり具体的には言えないんです。やっぱり差し支えがありますからね。ある種の心の病気についての自助グループだと思ってもらっていないですよ。

それでね、会のリーダーのかたに、いろいろ話をうかがっていました。この病気はどういうものなのか、そこから回復するにはどうすればいいかと考えているのか。私も日頃から考えていること、疑問に思っていることを伝えました。とても興味深いやりとりでした。

そこにね、「先生」が入ってきたんですよ。入ってきたといっても、まあ、そこが「先生」の控え室だったから、それは予想外のことでなかったんですけど。

で、そこで何が起きたと思いますか。突然、シーンとなったんですよ。私も口を閉じました。というのは、「先生」も意見を


もっているでしょうけど、「先生」の意見なんて私には興味がなかったんですよ。

なぜって、そりゃあ、私は自助グループを研究しているのですからね。自助グループのメンバーの話を聞きたいのであって、「先生」の話は正直いってどうでも良かったんです。

いいえ、立派な「先生」ですよ。その道の専門家です。本も出していらつしやったかな。物腰も柔らかいですよ。人に嫌われるようなタイプではないと思います。

私が驚いたのはね、メンバーも黙ってしまつたことなんです。会釈をして、それっきり。そのうち、メンバーは、隣にいるメンバーと何やら雑談しはじめました。小声で聞こえませんが、たぶん、どうということもない噂話なのでしょう。

私は『「先生」は気づかれているのかな』と思いました。自分が来たとなん、場が静まりかえつたことを。「先生」は、ずっとこの自助グループにかかわっていました。メンバーとも長いつながりのはずでした。



奥田真祐美

リサイタル

出 演 者=奥田真祐美
 スペシャルゲスト=さとう宗幸
 演 奏=西川真トリオ&
 弦楽アンサンブル
 日 時=11月14日(土)
 開場15時30分
 開演16時00分
 会 場=サンケイホールブリーゼ
 入 場 料=前売¥6000
 当日¥6500
 主 催=Office Okuda
 ○
 チケット取扱・ご予約・お問合せ=
 奥田真祐美 Office Okuda
 TEL・FAX 06-6692-8774

私はいくつか「先生」に質問しました。手をされました。いかにすれば平穏な毎日「先生」は、その分野の第一人者として丁寧が過ごせるのか、そのためには何をすればに答えてくださいました。その「先生」のいいのか、滔々(とうとう)と語られました。答えが長めだったので、私は安心しました。「先生」は教えるために、この集会に来られたのでした。ここは「同じ体験をしたも長めですからね。答えが長ければ長いほのだけが互いに理解しあえる」ということど、気まずい沈黙が短くなりますし、こちらが前提でみなさん集まっておられるのです。でも新しい質問を考えなくてすみます。 けどね。

やがて「先生」は、集会のなかで挨拶を 集会が終わるころ、さつき話したりするように求められ、すこし長めのスピー ーダーが私に声を掛けてくれました。私が思うのです、ハイ、これって大事なことなんです。(知)

いついたアイデアに興味をもってくれたようです。「先生」が指摘されたことは面白いですね。ちよつと他のメンバーとも話し合ってみますよ」と言ってくれました。

そう、私も「先生」なんですよ。でも請われもしないのに教えはじめたら、たちまち私の周りに沈黙が広がると思うのです。それを忘れないようにしなくてはと思うのです、ハイ、これって大事なことなんです。(知)

中村かずみ

家族でアメリカ！ ケンタッキー州滞在記

— 1 —

ケンタッキー州、と聞いたら何を思い浮かべますか？

まず絶対にフライドチキン！（笑）

そして多分馬、お酒が好きならバーボン、TOYOTAの工場があると知っている人はいかなりの事情通なのでは。

わが家もそんな程度そのまま主人の仕事でケンタッキー州を訪れ、2007年9月から翌3月までの半年間、地元の学校に子供3人を通わせて帰ってきました。

アメリカ合衆国中東部に位置するケンタッキー州は、ヨーロッパからの入植者に早くか

ら開拓された地域で、現在も住民の80%以上が白人です。そしてあの「人民の、人民による……」と演説をしたリンカーン大統領の出身地。保存されているその生家や、開拓時代の砦跡などを私たちも訪ねて来ました。

滞在したレキシントン市周辺は、当初は競走馬と煙草農場の街だったそうですが現在の経済を支えるのは大学と工業。主人もケンタッキー大学に留学しました。

郊外のトヨタ工場が雇用を生み、地域活動に積極的に好意を持たれていることもあって親日的。知的で穏やかな印象の、暮らしやすい街でした。

☆障害児を連れて

出発時の子どもたちは、中1（カズキ）小5（コウジ）小3（サキ）。
長男のカズキが重度知的障害を伴う自閉症です。

デンマークかもロンドンかも、やっぱりアメリカになったよーと何年か越しで実現した主人の留学。行き先がどこでも全員で行くつ

もりでしたが、ちょうど誰の卒業&入学にも邪魔にならない時期に実現したのは幸運でした。

「子どもたちの言葉は大丈夫？」
とみんなに尋ねられました。習うより慣れろだ！ と主人も言うので特に習わせず連れて行ってしまいました。

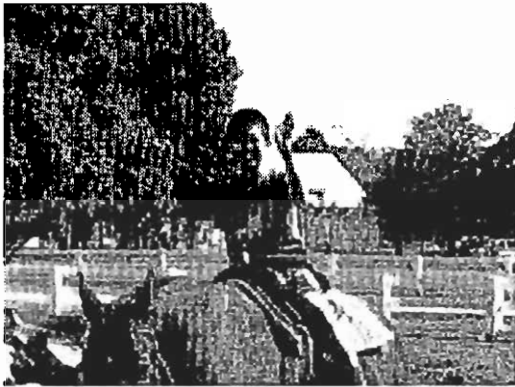
何しろ障害のある長男カズキは会話が出来ず、意思表示は単語と身振りで行っていました。ので、何語でもそう変わりはなにかと。そして弟妹はこの際、話せないのに学校に行つて分らない言葉ですつと授業を受けてきたお兄ちゃんの大変さ、偉さを、身をもって知るともいいたくれない、などという迷惑な目論見も実はありました。



ケンタッキーフライドチキン！



ホースパークにて



コウジ、余裕です

ズキは上手に書くのですが問題はその中に納めること、カズキが横を見て「Koji」「saki」と書いてしまわないこと？ 予防

荷物持、当座必要な夏服・学用品を各自手荷物で持って行き、スキーウェアやコートなどのかさばる(そして翌々冬にはサイズの合わない)冬服や、次男の愛するハリポッターほか子どもの本、たこ焼きの鉄板などをゆつくり船便で送ることに。送り先となるアメリカの部屋探しは、このインターネット時代なんと日本にいながらで

TVでポケモンもみられるし、アメリカからカタカナの言葉は通じるよ！ と、子どもたちには楽しいこと、いいことだけを言ってみました。私自身はカリフォルニア生まれ。2歳ごろ日本に戻り帰国子女ではありませんが、結婚前にも両親の赴任先の南米で1年暮らすなど外国生活にあまり抵抗はありません。まして、馴染みのあるアメリカ。学校は外国人や障害者への対応もいと聞いて安心していました。実際には、その「言葉より身振り」と

思っていたカズキが「ヒコウキ！ オオサカ！」と、言える限りの単語を必死に並べて「帰りたい！」と訴えてきて往生するのですが……。それはまだ先の話です。☆引つ越しの準備を

接種も、間をおいて何度か受けました。半年と短期間でしたので家はそのまま空けておくことにしました。同じ家、同じ学校に戻るのに、学校と区役所に転出手続きを(そして帰国時には転入手続きを)取らねばなりません。でない



馬上のカズキ

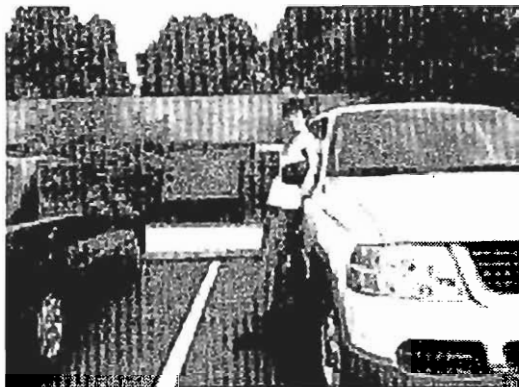
きてしまいます。不動産屋のサイトで、写真で物件選び。現地に長い日本人ご家族S家に電子メールでいろいろ教えていただき、結局ご近所に住むことにしました。

他にも飛行機の切符や到着日に滞在するホテルの予約など。アメリカとのやりとりはすべて主人のパソコンの中で進んでいきま

した。そしてビザ申請などなど、今振り返れば私が出来たことも主人にまかせきりでした。仕事の引き継ぎをしながらの手配は、どんなにか大変だったことかと思うと申し訳ないです。

アメリカの学校との連絡だけは私がしました。

これもまずネットで検索。日本人学校がありました！でも当然小規模です。長男のために必要な障害児教育や特別な配慮を、期待



車を買いました！

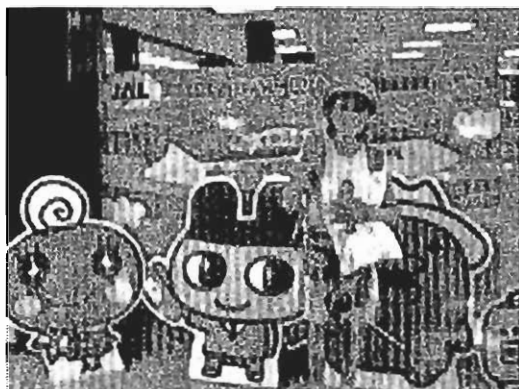
できるとはとても思えません。

ここは当初の目論見もあって、ぜひ現地の公立小学校に通わせたい。そこでS家のお子さんも通う近所の公立小学校の、校長先生宛にやはり電子メールで問い合わせをし、

「どうぞいらつしやい」

との快諾をいただきました。

これが国際電話では、何時にかけるのか何を言えばよいのか、保留にされたらお幾らかるのか、気が重いことこの上なし。なのに、なんて便利なんでしょう電子メール。



JALたまごっちキャンペーン中でサキ大喜び

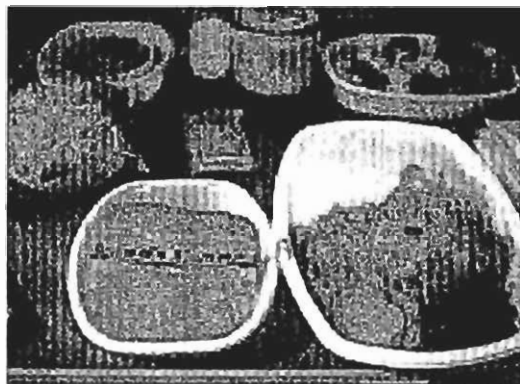
ビバ！ インターネット！

どんな学校？ ほら、このサイトで写真が見られるよ！ と、学校もホテルと同じように予約をしたつもりになって、すっかり安心していました。しかしやっぱり、現場に行ってみないと分からないのです。

☆ついにアメリカへ

出発当日の朝は快晴。

伊丹↓成田↓ダラス↓ブルーグラス空港



アメリカエアライン 初めての機内食



さあ出発！ 元気いっぱい朝7時



ダラス空港でくったり

と、遠回りの乗り継ぎで約21時間もかけながら小さな小さな空港にたどり着きました。職場の方にお出迎えていただいて、予約のホテルにチェックイン。5人で1部屋で安心……のはずが、2部屋にされていました。あれれ？ 行き来するうちに案の定、自動ロックで閉め出されてしまいました。それはさておき。

「先週で定員になって受け入れられません」
ウエルカムなはずの小学校に向くと

ええ？ そんな杓子定規な？ クラスに1人多いぐらい、キュツと詰めて座ればよいじゃないですかーと言ってみてももちろん通りません。
まさか空くまで自宅待機？
……ということではなく、車で15分ほどの別の学校を紹介されましたが。なぜそうなるのか、日本とどう違うのか？

また障害児であるカズキの受け入れはどうなのか。

このたび、連載を持たせていただけることになりましたので、小、中学校についての詳しい話はまた次回以降に書かせていただきます。よろしくおつきあいをお願いします。

☆私たちの滞在先



映画「夢駆ける馬ドリマー」(2005年・106分)は、骨折した馬が、女の子(ダコタ・ファンング)の熱い願いで薬殺処分を免れ、レースで再起。同時に彼女と父親との絆も再生していく愛と感動の物語！

この映画の舞台が滞在先、ケンタッキー州レキシントン市です。最寄りのブルーグラス空港に着陸時の風景は、まさにこの映画のオープニングそのまま。馬が走り緑の草原がどこまでも広がります。

私たちが住んだのは州立大学近くの住宅街でしたが、車で10分〜20分も走れば牧場やワイン畑になり、広大な敷地にポツンと建つ家は、隣家どころかきつと郵便受けに行くにも車がいるでしょう。

美智子のこんな話

岸田美智子

福祉電話の必要性

最近、私の知っている重度障害者で作家でもある、北海道の「いちご会」の小山内美智子さんが、悪性リンパ腫になってしまい、その闘病記をまとめられた本が「わたし、生きるからね」というタイトルで出版されました。国民の3人に1人の割合で、がんを患い亡くなると聞いたことがあります。

幸い、小山内さんは抗がん剤治療の結果、元気になられ、お仕事に復帰されたそうです。その小山内さんの入院生活での介助体制がやはり、とても難しい課題になっていたそうです。ボランティアさん、医療系の看護学生たちに介助体制を作りながら行政にも入院

時の介助保障を要求しておられます。このように、重度障害者の場合ヘルパー派遣事業所や、ボランティアなどへの連絡の手段として電話は、必需品だと思われれます。

そんな重度障害者の中には、福祉電話（*）を使っている方も多いかと思われすが、7月初めに大阪市の自立支援事業担当者から、「障害者用福祉電話利用者の皆様へ」という通知が届いたと思います。

大阪市からは、資格再確認のための現況届けの記入用紙が送られてきました。

その中で、収入状況について、という項目の中で生活保護世帯は基本料金及び通話料（60度数）は本人負担となります、という1行が突然明記されていたのでびっくりされた方も多かったのではないのでしょうか？

生活保護の世帯については、最近、水道料金の助成もなくなつたと聞いています。大阪市は福祉電話の利用状況について何らかの調査を行ったのでしょうか？ 福祉電話の対象者である重度障害者の場合、ほとんどの方がヘルパー制度を利用したりボランティアを集めたりして介助体制を維持している生活をされていると思いますが、そんな生活の中ではヘルパー派遣事業所や、ボランティアに連絡しなければならぬ場合が絶対必要です。また、高齢者なら携帯電話も使えず、福祉電話に頼って生活しておられる方も多いと思われ

ます。電話は社会とのつながりにおいて命綱ともいえるのではないのでしょうか？ 皆さんはどう思われますか？

（*）外出困難な重度障害者（2級以上または、聴覚障害3級以上）のために、コミュニケーション緊急連絡等の手段として、必要と認められた者。所得税非課税世帯者に電話機設置経費、基本料金、通話料（60度数まで）を大阪市が負担するものです。

サロンの

一筆箋

一冊一〇〇枚綴 一五〇円

<サロン・あべの>の活動資金調達にご協力ください。



10月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

問い合わせ先：生野区社協（ボランティア・ビュー
ロー） ☎ 06-6712-3101

○お知らせ：サロン「アイ」だよりの音訳テープが
出来ます。ご希望の方は、西浦まで。
☎ 06-6757-8574

■「サロン淀川」10月の出会い

日 時：10月18日（日）午後1時30分～4時
内 容：万華鏡作りにチャレンジ
-万華鏡ってよく見ると、みんなつな
がっているんだね-

ゲ ス ト：宮本志津代さん

会 費：なし

場 所：淀川区民センター「やすらぎ」
大阪市淀川区三国本町2-14-3

問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビュー
ロー） ☎ 06-6394-2900

E-mail：sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にしよど」10月の出会い

日 時：10月24日（土）1時～4時
内 容：救急救命法の勉強（AED講習会含む。西
淀川区社協主催「世代を活かすボラン
ティア講座」に合流）

講 師：西淀川消防署

場 所：西淀川在宅サービスセンター「ふくいく」
大阪市西淀川区千舟2-7-7

会 費：なし

問い合わせ・申し込み先：
中本 ☎ 090-9864-9678

■サロン「アイ」10月の出会い

日 時：10月24日（土）午後1時30分～4時
内 容：南米放浪記と落語

ゲ ス ト：磯野（いその）太郎氏（万屋さん）

会 費：なし

場 所：生野区在宅サービスセンター
「おかちやま」2階ボランティアルーム
大阪市生野区勝山北3-13-20

■「サロン・にし」10月の出会い

日 時：10月10日（土）午後2時～4時

内 容：児童教育について学ぼう！

会 費：なし

場 所：西区在宅サービスセンター
「にしながほり」
大阪市西区新町4-5-14

☎ 06-6539-8075

問い合わせ先：宮脇淳 ☎ 090-3949-6973

■《てくてく・すみよし》10月の出会い

日 時：10月10日（土）

集合時間=9時30分

集合場所=阪神なんば駅

内 容：神戸の「花鳥園」見学

参 加 費：2000円、（昼食と入場料を含む）、交通費
は自己負担。

申し込み締切：10月1日（木）

申し込み・問い合わせ先：

山本篤江 ☎ 06-6692-8411

携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」10月の出会い

日 時：10月4日（日）午後1時30分～4時

内 容：エコライフをはじめよう！

-海ゴミからのメッセージ-

ゲ ス ト：梅田アキさま

場 所：鶴見区民センター3階
大阪市鶴見区横堤5-3-15

会 費：なし

問い合わせ先：鶴見区社協（ボランティア・ビューロー）
奥井 ☎ 06-6913-7070

■「サロンいたみ」10月の出会いはお休みです

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で〈サロン・あべの〉紙第278号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第278号までそろっています。
- (b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳DJ)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸で

んわ音訳DJ)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ぼけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳DJ)
- (o) 「もうちょっと知っとく？ 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳DJ)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行編・著＝糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳DJ)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博＝糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)
- (v) 富田慶子出演の「ちょっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ
ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。音訳の後のDJ印はディジー録音。

寄りみち



■童謡♪絵はがき・村祭。四季折々さまざまなお祭りがありますが、これは秋の祭りの様子を歌っています。農耕民族である日本人の米作りへの思いや、豊作祈願、感謝の気持ちを抱くという日本の風習、日本の祭りのルーツが、色濃く描かれた歌です。ところが、町村合併などで一部の村が消えてしまい、おまけに歌詞そのものも、時代遅れだからという理由で、明治45年に発表されて以降、必ず教科書に載っていたこの「村祭」も教科書から消えてしまい、子どもたちに日本人の米作りに対する苦勞と気持ちを唄で伝えることもなくなってしまいました。が、それから何年か経って、「村祭」がまた、教科書に復活しました。(石)

<サロン・あべの>VOL. 279 発行：平成21(2009)年9月19日 定価¥100
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
 ホームページ：http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/ 「サロン あべの」でも検索できます